

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト 学科		1年
科目名	コンピュータ概論	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	田中 優平
時間数	前期：96時間	実務経験：工場の監視・制御系システムのSE・PGとして従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。	
科目の目的と講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報技術者試験の出題範囲である、テクノロジ系、マネジメント系、ストラテジ系の3系統のうち、テクノロジ系の基礎となる情報の基礎理論やハードウェア、ソフトウェア等に関する分野の知識を学ぶ。基礎的な用語や考え方を身に付ける。 ・コンピュータ、及びコンピュータに関わる様々な基本原理や基礎技術について学習する。これらの技術について理解を深めることにより、コンピュータに関する基礎的な知識や、プログラミング学習に必要なソフトウェアに関する知識の習得を目的とする。 		
目指す検定・資格	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ 情報処理能力認定試験 2級 1部 ・経済産業省 基本情報技術者試験 		
指導方法及び学生に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と確認テストの反転学習をベースに、コンピュータ、及びコンピュータに関わる様々な基本原理や基礎技術について理解を深めることにより、基本的なITに関する専門用語で自然にコミュニケーションができる。 ・急速に進化するIT業界において、ニュース等で最新の情報も取り入れることで、新しい知識や技術に興味を持ち、主体的に学べる学生を育成する。 ・コンピュータに関する基礎的な知識や、プログラミング学習に必要なシステム設計に関する知識の習得を目的とする。 		
その他			
	前 期	後 期	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジ系の基礎となる情報の基礎理論やハードウェア、ソフトウェア等に関する分野の知識を網羅的に学ぶ。 ・データベースに関する基本知識 ・コンピュータのシステム設計に関する基礎的な知識 ・コンピュータのシステム設計に関する基礎的な計算 ・学ぶべき用語や範囲が広いため、問題集で知識の確認をしながら確実に身に付けていく。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な用語や考え方を身につけることを目的とする。 ・データベースに関する基礎的な知識を説明できる ・コンピュータのシステム設計に関する基礎的な知識を説明できる。 ・コンピュータのシステム設計に関する基礎的な計算ができる。 		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験（95%）、出欠席（5%）で評価をつける 		
テキスト・副読本	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論（株）ウィネット ・情報処理試験合格へのパスポート システム開発技術（株）ウィネット ・情報処理試験合格へのパスポート マネジメントと情報化（株）ウィネット ・基本情報技術者 午前対策問題集 		

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1年
科目名	ネットワーク・セキュリティ	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	藤井 克俊	
時間数	前期：33時間 / 後期： 時間	実務経験：システムエンジニアとして業務システムの企画提案、運用、Webシステムの開発に従事。現場で培った経験をもとに講義を行う。		
科目の目的と講義内容	本講義は、コンピュータ、及びコンピュータに関わる様々な基本原理や基礎技術について学習する。これらの技術について理解を深めることにより、コンピュータに関する基礎的な知識や、プログラミング学習に必要なソフトウェアに関する知識の習得を目的とする。			
目指す検定・資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ サティファイ 情報処理能力認定試験 2級 1部 ・ 経済産業省 基本情報技術者試験 			
指導方法及び学生に期待すること	講義と確認テストの反転学習をベースに、基本的なITに関する専門用語で自然にコミュニケーションができる。また急速に進化するIT業界において、ニュース等で最新の情報も取り入れることで、新しい知識や技術に興味を持ち、主体的に学べる学生になって欲しい。			
その他				
	前 期		後 期	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークに関する基本知識 ・ 情報セキュリティに関する基本知識 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークに関する基礎的な知識が説明できる ・ 情報セキュリティに関する必要な知識が説明できる 			
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験（95%）、出欠席（5%）で評価をつける。 			
テキスト・副読本	情報処理試験合格へのパスポート 情報処理システム開発技術（株）ウィネット			

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1年
科目名	プログラミング I	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	小池 はるか	
時間数	前期：69 時間 / 後期： 時間	実務経験：情報系専門学校を卒業後、IT 系の講師としての経験を活かし、オブジェクト指向を用いたプログラミングができるように講義する		
科目の目的と講義内容	Java の基本的な文法及び、オブジェクト指向の考え方を学習し、オブジェクト指向を用いたプログラミングができるようになる。			
目指す検定・資格	サーティファイ Java プログラミング能力認定試験 2 級			
指導方法及び学生に期待すること	プログラムのトレースとしてアルゴリズム力が必要となる。地道にデータをトレースし論理的な思考力を身につける。			
その他				
	前 期			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ Java による基本的な処理とデータ構造の理解（式と演算、条件分岐、繰返し、配列、メソッド） ・ オブジェクト指向の基本概念の理解（インスタンスとクラス、コンストラクタ、カプセル化、継承、インタフェース、多態性、API、例外、） 			
到達目標	オブジェクト指向を用いた基礎的な文法、考え方を身につけることを目的とする。また、Java プログラミング能力認定試験 2 級の合格を目指すことで能力を高める。			
成績評価方法	期末試験 70%、授業中課題 20%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	【テキスト】 スッキリわかる Java 入門（インプレス社）			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト 学科			1年
科目名	アルゴリズム概論	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	近藤 進介	
時間数	前期：81時間 / 後期： 時間	実務経験：ミドルウェア、IaaS システムの開発に従事。その経験をもとに、現場で生きる能力・知識を習得できるよう講義をおこなう。		
科目の目的と講義内容	プログラム作成時に必要なアルゴリズムについて学習を行う。プログラムの流れを考え、定められた記号を使い記述するものであるため、正解が一つではない事を第一に理解する。また、如何に効率よく作れるか、論理的に処理手順を考える能力を身につける。基礎でパターン化された手順を学び、その後、応用問題を解く事により理解度を深める。また別の記述形式として疑似言語も学ぶ。			
目指す検定・資格	・ サティファイ 情報処理能力認定試験 2級			
指導方法及び学生に期待すること	座学と演習をベースに授業を展開する。演習ではグループ学習でお互いに教え合うことで、アルゴリズムの流れや考え方について理解を深めてほしい。			
その他				
	前 期			
授業の概要	プログラムの流れを考え、定められた記号を使い記述するものであるため、正解が一つではない事を第一に理解する。基礎でパターン化された手順を学び、その後、応用問題を解く事により理解度を深める。また別の記述形式として疑似言語も学ぶ。			
到達目標	基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方を身につけることを目的とする。また、如何に効率よく作れるか、論理的に処理手順を考える能力を身につける。			
成績評価方法	期末試験（95%）、 出欠席（5%）で評価をつける。			
テキスト・副読本	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造 ウイネット			

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1 年
科目名	ビジネスアプリケーション演習	科目区分	(一般科目) ・ 専門科目	
開講期	(前期) ・ 後期 ・ 通年	担当教員	近藤 進介	
時間数	前期：30 時間 / 後期： 時間	実務経験：ミドルウェア、IaaS システムの開発に従事。その経験をもとに、現場で生きる能力・知識を習得できるよう講義をおこなう。		
科目の目的と講義内容	Windows の操作に慣れていない学生、Excel を使用したことがない学生もいるため、Windows 操作方法の確認、Excel では操作方法の確認、各関数を使えるようにする。実際にパソコンを使用して、確実に処理が行われているか確認しながら Excel 検定 2 級の合格レベルまで引き上げていく。			
目指す検定・資格	サーティファイ Excel 表計算処理技能検定 2 級			
指導方法及び学生に期待すること	初めて使用する機能や関数が出てきた場合には、問題を解く前にプロジェクターを使用して前で解説を行い、機能や関数の本質的な意味が理解できるような授業展開とする。積極的に機能に触れ、OS、アプリケーション操作に慣れることを期待する。			
その他				
	前 期			
授業の概要	Windows11 の基本操作及びショートカットなど実用に役立つ技術を学ぶ。表計算ソフト(MicrosoftExcel2019)の基本的なしくみと特徴(計算・グラフデータベース等)を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。			
到達目標	Windows の基本操作を理解する。表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。関数を使った簡単な表を作成し、必要に応じて並べ替えやフィルターを設定できるようにする。			
成績評価方法	検定結果(60%)、期末試験(35%)、出欠席(5%)で評価をつける。			
テキスト・副読本	Windows11 やさしい教科書 独自テキスト ※参考：よくわかる Excel2019 基礎、よくわかる Excel2019 応用			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	情報スペシャリスト学科		1年
科 目 名	ビジネス実務 I	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	近藤 進介 ・ キャリア
時 間 数	前期：35 時間／後期： 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学時から就職を意識し、「働く意味」を理解させ、自己分析を行っていく。 ・ 社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。 		
そ の 他	時事問題に触れる時間を、積極的に取り入れる。		
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事に全力で取り組む。 ・ キャリアの授業を取り入れ、働く意味を知り、自己分析を行っていく。 ・ 社会人としてのマナーを身に付け、実践していく。 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・ マナー・礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。 		
成 績 評 価 方 法	前期試験 (95%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<ol style="list-style-type: none"> ① ビジネスマナー基本テキスト (日本能率協会マネジメントセンター) ② 就職活動ワークブック (日本能率協会マネジメントセンター) ③ プリント 		

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1年
科目名	プログラミングⅡ	科目区分	一般科目 ・ 専門科目	
開講期	前期 ○ 後期	担当教員	近藤 進介	
時間数	前期： 時間 / 後期：60時間	実務経験：ミドルウェア、IaaS システムの開発に従事。その経験をもとに、現場で生きる能力・知識を習得できるよう講義をおこなう。		
科目の目的と講義内容	Java の基本的な文法及び、オブジェクト指向の考え方を学習し、オブジェクト指向を用いたプログラミングができるようになる。			
目指す検定・資格	サーティファイ Java プログラミング能力認定試験 2 級			
指導方法及び学生に期待すること	プログラムのトレースとしてアルゴリズム力が必要となる。地道にデータをトレースし論理的な思考力を身につける。			
その他				
	後 期			
授業の概要	・プログラミングⅠでは不足しているサーティファイ JAVA 検定 2 級の範囲について学習をする。			
到達目標	また、Java プログラミング能力認定試験 2 級の合格を目指すことで能力を高める。			
成績評価方法	期末試験 70%、授業中課題 20%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	【テキスト】 スッキリわかる Java 入門 (インプレス社)			

講 義 の 内 容				
項目番号	項 目	到 達 目 標	テキストページ	時間
1	標準クラス	よく使われる標準クラスの仕様を理解し、活用できる。基本データ型とラッパークラスの関係性を理解し、用途に応じて変換するプログラムを記述することができる。	P525～554	6
2	コレクション	コレクションフレームワークについて理解する	P606～646	6
3	例外処理	例外処理が必要になるシーンを想定し、try-catch による例外処理の記述方法を説明できる。 例外クラスの受け渡しと多態性の特性を生かした try-catch の記述方法を説明できる。例外の伝播の法則を説明できる。 例外を用いたプログラムを記述することができる。	P647～692	7
4	TechFul	TechFul を用いて実践的な問題演習を行う。		18
5	実践	サンプル問題を参考に問題演習を行う。		18
6	確認テスト	正答率 80%以上		5

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1年
科目名	情報リテラシー	科目区分	一般科目 ・ 専門科目	
開講期	前期 後期 ・ 通年	担当教員	近藤 進介	
時間数	前期： 時間 / 後期：32時間	実務経験：ミドルウェア、IaaS システムの開発に従事。その経験をもとに、現場で生きる能力・知識を習得できるよう講義をおこなう。		
科目の目的と講義内容	情報処理技術者試験（基本情報技術者試験）の午前問題集をベースに、これまで学んだコンピュータ用語の確認、言語、アルゴリズムなど、分野ごとの総仕上げを行う			
目指す検定・資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ サーフাই午前免除試験 ・ 経済産業省 基本情報技術者試験 			
指導方法及び学生に期待すること	情報処理試験向け実践問題について一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。学びによって自身の情報リテラシーを高め、試験合格を目指す。			
その他				
	後 期			
授業の概要	・ ハードウェア、ソフトウェア、システム設計分野について、情報処理試験の過去問題の反復学習を行い、情報処理に関する基礎知識を固める			
到達目標	・			
成績評価方法	・ 検定結果（サーフェイス情報処理技術者試験）（35%）、模擬試験結果（60%）出欠席（5%）で評価			
テキスト・副読本	情報処理技術者能力認定試験 2級問題集 （ウイネット社）			

項目番号	項目	講 義 の 内 容		
		到 達 目 標	テキストページ	時間
1	第2部演習問題	情報セキュリティ コンピュータシステム マネジメント ストラテジ データ構造とアルゴリズム	P78～P124	12
2	過去問答練	本試験過去問題 模擬試験形式と見直し		10
3	模擬試験	本試験過去問題 模擬試験形式と見直し		10

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1年
科目名	情報処理技術者 I	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 後期 ・ 通年	担当教員	近藤 進介	
時間数	前期： 時間／後期： 92 時間	実務経験：ミドルウェア、IaaS システムの開発に従事。その経験をもとに、現場で生きる能力・知識を習得できるよう講義をおこなう。		
科目の目的と講義内容	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。			
目指す検定・資格	情報処理技術者国家試験（基本情報・応用情報・高度区分）			
指導方法及び学生に期待すること	情報処理技術者国家試験の過去問題を中心に答練による理解を深める。 各分野の基礎力を高める。 模擬試験を通して、応用力を確認し合格を目指す。 苦手分野を克服しながら、クラス一丸となって合格を目指す。			
その他	なし			
	後 期			
授業の概要	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。 教師からの解説も行うが、基本的には学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる。			
到達目標	情報処理技術者国家試験について合格を目指す。			
成績評価方法	模擬試験結果（20%）本試験結果（75%）出席率（5%）			
テキスト・副読本	基本情報の過去問題・解説 模擬試験			

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1年
科目名	フロントエンド I	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期	・ 後期 ・	通年	担当教員
時間数	前期： 時間	／	後期： 49 時間	近藤 進介
科目の目的と講義内容	<p>実務経験：ミドルウェア、IaaS システムの開発に従事。その経験をもとに、現場で生きる能力・知識を習得できるよう講義をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Web ページおよび Web サイト制作の基礎知識・技術を身に付ける。 ・ Web サイトの制作では、技術面だけでなく、関連技術やモラルなどもしっかり理解する必要があり、Web サイトの閲覧の仕組みや Web ページの制作に必要な注意事項についても学ぶ。 ・ JavaScript の基本的な文法を習得する。JavaScript を用いて動的なアプリケーションを作成する。 			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書に従って Web サイト制作に必要な知識を教示する。单元ごとに小テストを実施し、知識の定着を確認する。 ・ 最終的に Web サイトを独力で作成する演習を行い、知識だけでなく技術的な成長を目指す。 			
その他				
	後 期			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web ページおよびサイトの制作手法について学ぶ。また、Web サイトの閲覧の仕組みや Web ページの制作に必要な注意事項についても学ぶ。 ・ JavaScript の基本文法を学習する。Web サイトに動的なパーツや要素を作成しインタラクティブなサイトを制作する。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ HTML5 と CSS 基本から学び、レイアウトや配色など Web デザインの基礎知識を身に付け、静的な Web サイトを独力で作成できる。 ・ JavaScript の文法を用いて、ブラウザの表示を動的に変更するアプリケーションを作成できる。 			
成績評価方法	期末試験 (70%)、制作物 (20%)、授業態度 (5%)、出席率 (5%)			
テキスト・副読本	スラスラわかる HTML&CSS のきほん (SB Creative 社) プロフェッショナル web プログラミング JavaScript (エムディエムコーポレーション社)			

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1 年
科目名	データベース	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 若林 潤一
時間数	後期：50 時間		実務経験：県内システム会社勤務を経て WEB サービス会社の社長 COO として従事した後独立。Web システムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。	
科目の目的と講義内容	データベースの基本的な仕組み、正規化の考え方を理解した上で MySQL を用いて SQL4 大構文を用いたデータ操作ができるようになる			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	座学と実習を組み合わせた複合的な授業展開とする。 学生には個々の課題の取り組みにおいて、DBMS の基本的な操作方法だけでなく、他者をフォローし、相互理解を深める学習活動を期待する。			
その他				
	後 期			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの基礎概念 ・データベース正規化 ・SQL の 4 大構文の理解 ・DBMS 			
到達目標	情報処理技術者試験のデータベース分野の問題を理解し回答できる			
成績評価方法	期末試験 70%、確認テスト 20%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	データベースと SQL (インフォテック・サーブ社)			

令和 6 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			1 年
科目名	インフラ I	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期： 時間 / 後期： 46 時間	実務経験：システムエンジニアとして業務システムの企画提案、運用、Web システムの開発に従事。現場で培った経験をもとに講義を行う。		
科目の目的と講義内容	Linux および基本的なコマンド操作、サーバ構築ができるようになる。			
目指す検定・資格	101 試験：LinuC Level1 Exam 101 102 試験：LinuC Level1 Exam 102			
指導方法及び学生に期待すること	座学による知識の習得に加え、演習課題で実践のスキルを磨いていく。 Linux やコマンド操作に対して積極的に学習し、技術者としての基本スキルを身につけてほしい。			
その他	なし			
	後 期			
授業の概要	Udemy の動画教材を用いて Linux の基礎知識とコマンド操作を理解し 仮想環境を用いて実際に LinuxOS を用いた演習を行う。			
到達目標	仮想環境を用いて LinuxOS をインストールし、コマンドラインを用いて 様々な設定ができる。 Linuc Level1 に合格できるレベルの知識とスキルを習得できる。			
成績評価方法	期末試験 70%、確認テスト 20%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	基礎からしっかり学ぶ Linux 入門 技術評論社			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト		学科	1年
科目名	システム設計		科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年		担当教員	近藤 進介
時間数	前期： 時間 / 後期： 49 時間		実務経験：ミドルウェア、IaaS システムの開発に従事。その経験をもとに、現場で生きる能力・知識を習得できるよう講義をおこなう。	
科目の目的と講義内容	システム開発におけるドキュメントの作成方法を学習し、チームで設計書を作成することで、システム開発に必要な関連技術を習得する。			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	授業では演習中心の授業を展開する 演習を通して設計及びグループ開発について取り組み、与えられた課題に対して複数人で開発する経験を通してコミュニケーション能力を身につける。			
その他	特になし			
	後 期			
授業の概要	システムの上流工程に必要なプロジェクト計画書、要件定義書、システム設計書を作成する。			
到達目標	システム開発に必要なドキュメントを作成することができる			
成績評価方法	期末試験 60%、小テスト 30%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	テキスト：なし			

令和6年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト		学科	1年
科目名	ネットワーク演習	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期	・ 後期	・ 通年	担当教員 岡本 和也
時間数	前期： 時間	／ 後期	： 49 時間	実務経験：県内 SIer において情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かした講義を行う。
科目の目的と講義内容	ルータや L2 スイッチの役割を理解し、基本的なネットワーク構築技術や Cisco コマンドが理解できるようになるための知識、技術を身につける。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	CISCO エミュレータソフトを用いた演習形式による授業を行う。 ルータ、L2SW 等の基本的な設定方法、ルーティング設定、VLAN 設定などインフラ技術者としての必須技術を身に付ける。			
その他	なし			
	前 期			
授業の概要	1 年前期のネットワーク・セキュリティで習得した知識をスキルとして確立させる。また、実社会での通信ネットワーク技術の運用技術を学ぶ。			
到達目標	曖昧だったイメージを明確なイメージを持てるようにする。 苦手意識をなくし興味を持ち積極的に学べるようにする。			
成績評価方法	期末試験 60%、実習課題 30%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	テキスト：なし			

令和6年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	情報スペシャリスト学科		1年
科 目 名	ビジネス実務Ⅱ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	近藤 進介・キャリア
時 間 数	前期： 時間／後期：17時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。 ・ 社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。お 		
そ の 他	時事問題に触れる時間を、積極的に取り入れる。		
	後期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回の就職対策に向け、自己分析、履歴書作成、業界分析を行う。 ・ 社会人としてのマナーを身に付け、実践していく。 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・ マナー・礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。 		
成 績 評 価 方 法	前期試験 (95%)、出欠席 (5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<ol style="list-style-type: none"> ① ビジネスマナー基本テキスト (日本能率協会マネジメントセンター) ② 就職活動ワークブック (日本能率協会マネジメントセンター) ③ プリント 		